

★バンクーバーパラリンピックから学ぶ★

障害者救護・応急処置講座

とっておきの思いやり！

- 障害者の人たちへの接し方がわからない
- 何に注意して処置をしたらいいの？
- 車いすや装具の取り扱い方がわからない
- パラリンピックのボランティアは不安

すべて解決！

2020年オリンピック・パラリンピックも間近となり、多くの選手や関係者、観客を全世界から受け入れる体制が整いつつあります。そのなかでも障害者の方々に対する体制というもの、これまで日本がもっとも苦手としてきたもののひとつです。オリンピック招致でかかげた「おもてなし」の心を、しっかりと皆様に提供するには、このようなきめ細かなサービスの準備が必要ではないでしょうか？

さらに、この知識はオリンピックやパラリンピックだけのためではなく、日常の家庭や職場・公共施設などで、一般常識としてみなさんに周知されるべきだと考えています。

今回はバンクーバーオリンピック・パラリンピックで救護の統括責任者であった、ブリティッシュコロンビア司法大学のキャシー先生をお招きし、今後の日本に、ワンランク上のおもてなしの精神が根付いていくよう、みなさまとご一緒に勉強していければ幸いに思います。

日程

平成31年5月25日(土) 18:00受付開始

東京都大田区南蒲田1丁目20-20

大田区産業プラザPIO4Fコンベンションホール

平成31年5月26日(日) 14:00受付開始

千葉県市原市更級1丁目9-8



※入場料 500円(当日券のみ)

主催

学校法人 国際医療福祉専門学校

救急救命士連携ネットワーク(救急救命士2020プロジェクト本部)



講師紹介

元バンクーバーオリンピック・パラリンピック

救護統括責任者

現ブリティッシュコロンビア司法大学

健康学科長

キャシー・ハームス



障害者救護を含めた健康学を中心とする教育プログラムの学科長を務め、その指導要領の策定においてもイノベーションな発想を取り入れた各種院前ケアやパラメディックをはじめとする医療従事者などの養成に尽力している。